

- ① 実需者ニーズにもとづき開発した有望品種の試験栽培を行い、生産技術の確立と収量性の確保を図りながら、JA・生産者に対し、実需者用途に適した多収性品種等による契約栽培を提案推進し、その取り組み拡大をめざします。
- ② 提案推進にあたっては、JA・生産者との複数年・買取契約に積極的に取り組み、長期安定的な取引を構築します。

実需者



- この商品、メニューに合うお米が欲しい。
- 加工適性の高いお米が欲しい。
- 業務用として適正な価格で安定取引できるお米はないか。・・・など

実需者ニーズ

全農

連合会

実需者ニーズの把握

反映

提案／推進

品種選定・種子増殖
(多収性品種、寿司用向け品種等)

反映

JA
生産者

提案

営農
指導

試験栽培(28年産:9産地・24JA・35ha)

業務用向多収性品種等作付面積の拡大

契約栽培的
安定取引
の拡大

全農からの提案内容

多収性品種等

「あきだわら、やまだわら、ほしじるし、笑みの絆、とよめき」など



業務用実需者等 との契約栽培

- ・専用圃場として“のぼり”設置
- ・取引先を含めた協議会の設置など



全農

営農支援

栽培技術の確立をめざし、JAと一体となって、施肥量や施肥時期のアドバイスなど



長期安定取引

- ・複数年契約
- ・全農買取

